



羽黒工業株式会社
共感できる思いをカタチに
in the form of feelings



代表者あいさつ



建設業、特に建築と違って土木という業種はどのような仕事をしているのかイメージしにくいかもしれません。さらに、現場監督をしている会社と比べて、実際に作業を行い、構造物などを作っていく私共の会社はあまり表に名前が出てきません。従って、一般的な知名度は少ないと思います。

しかし、縁の下の力持ちという言葉があるように、前身である羽黒石材から羽黒工業という会社になって約50年、機動力と品質確保を両立してお客様のニーズにこたえるよう努めてきました。また、それを通じて道路、橋などのインフラの構築整備に加え、近年増加している自然災害を防ぐ護岸や砂防ダムの他除雪や家畜伝染病など建設企業で対応することが多い自然相手の案件に備えをしています。目立たずとも、人々の暮らしを支え守る事に貢献を続けております。

建設業は特殊性が強い業界と言われており、率直な話をするとは他業種に比べ遅れている部分があります。しかし、近年は働き方改革やICTと呼ばれる情報化施工を始めとする新技術の実践導入など大きな変化が始まっています。そこで必要なのがこれまでの業界にとらわれない価値観を持った若い人達の力や考え方です。これまで長年携わってきた人たちの技術と経験を若い力でどのように使っていくのかというのが、今後の建設業を盛り立てていくのに重要になってきます。人々の生活を支え守るという重要な仕事である建設業ですが、そこにどう関わるかという選択肢が羽黒工業には多くあります。グループ会社を含めると、重機の運転、コンクリートの枠を加工する大工、コンクリートをならす左官、クレーンの運転、資機材を運ぶ大型車両の運転、重機車両のメンテナンス等々。こういった仕事がしたいと決まっている人はもちろん、何をやりたいのか今一つ定まっていない人でも何かしら興味の持てるものが見つかるはずです。そしてその仕事は確実に多くの人役に立つものになるでしょう。

取締役 副社長 小田切 優次

会社概要



商号 羽黒工業株式会社
代表者 小田切 昭
資本金 50,000,000円
創業 昭和49年3月18日

事業内容 土木工事業 石工事業
舗装工事業 薦・土工工事業
浚渫工事業 鋼構造物工事業
塗装工事業 水道施設工事業
解体工事業 他



建設業許可 グループ会社 山梨県知事許可(特-22)第507号
フジ運輸株式会社
大久保建材有限会社
フジ貿易株式会社
所在地 〒400-0111
山梨県甲斐市竜王新町1279
TEL：055-276-2346
FAX：055-279-2591

羽黒工業の歩み

昭和36年6月 羽黒石材店創業 石材採掘販売業を営む
昭和37年4月 重機リース業、土木工事下請を始める
昭和49年3月 羽黒工業株式会社 設立
本社事務所・第一従業員宿舎 完成

平成2年8月 運送部門を フジ運輸株式会社として独立
平成5年11月 雇用促進事業団助成 従業員寮
「はぐろ寮」(5階ALC造 80名収容)完成
平成17年4月 建築関係全般の建設業許可取得 総合建設業となる

平成17年6月 フジ運輸株式会社で建設業許可(土木関係全般)を取得
平成19年7月 ISO9001認証取得
平成21年3月 ISO14001認証取得
平成24年10月 関東地方整備局より建設会社における「災害時の基礎的
事業継続力(BCP策定の取り組み姿勢)」の認定を受ける

平成28年2月 羽黒工業新社屋完成
平成30年11月 山梨県農政部長 (優良工事施工功勞)
令和2年12月 山梨県県土整備部長 (優良工事施工功勞)
令和3年10月 健康事業所宣言「からだもこころも健康で働ける職場」を
目指し従業員の健康づくりに取り組むことを宣言

現場をのぞき見 🔍



左上の写真は護岸工事で石積みという作業をしている所です。重機と聞くと土を掘るだけのイメージがあるかと思いますが、先端がハサミ状で木や石を掴んだり積んだりできる回転グラップルというものや大きな石を砕いたりするブレイカーなど、作業内容に応じてアタッチメントを交換して作業を行っています。

また、河川の護岸工事では安全性だけでなく、親水性や周りの景観との調和も大切に、美しい河川空間を守っていきます。



こちらの重機は【PC200i】という機械で、いわゆる【ICT】を活用した機械です。GNSSアンテナと基準局から得た刃先の位置情報、設計データをもとに、操作がセミオート化され、簡単に掘削(地盤を掘る)作業が行えます。

バケットの刃先が設計面に達すると自動的に操作が停止するため、細かい重機操作をしなくてもオペレーターは”掘り過ぎ”を気にせず作業が行えるため大幅に作業効率が上がります。

近年、建設業の現場ではドローンの活用が進んでいます。操作が簡単な上、飛行中の安定性も高く、上空から現場全体の施工状況が一目で管理できるという利便性があります。また、道路工事などでは盛土(土を盛って地面を平らにする)に必要な、土量の計算に使用したりと、様々な場面で作業の効率化が可能になります。

羽黒工業でもドローンやICTなどの新技術を積極的に取り入れ、新しい建設業の仕事の在り方を常に模索しております。



最後に皆様へ

たとえば、
友人と話しながら歩いている道。
川にいるカモを見ながら渡っている橋。
家族と景色を見ながら走っている高速道路。

普段あたりまえのように利用しているそれらは、
どのようにして出来たのでしょうか。
日常に溶け込んでいてすっかり忘れてしまっている
ことですが、それらは人によって作られ、
「あたりまえ」になったものです。

その「あたりまえ」を作っているのは、建設業です。

建設業といえば

3K（キツイ、危険、汚い）

なんてイメージがきつとあるだろうと思います。

遠い現場で早朝から動かなければならない

休日も他の業種と比べると多くはない

正直、何が良いんだろう、、、

そう思うと思います。

では、その先を考えてみましょう。

自分が携わって作り上げた道を通るとき、あなたは何を思うでしょう。

これは自分が作ったんだ、と胸を張ってニヤニヤしながら通るかもしれない。

街中で「この道が出来たからすごく便利になったよね！」なんて言葉を聞く

たびに「ああ、この仕事をしていて良かったなあ」と感じるかもしれない。

自分が作り上げたもので、人が笑顔になっている、人を助けている。

それが建設業の魅力だと思います。

どんな仕事をするんだろう？

どんな人たちと一緒に作るんだろう？

何かを始めるには些細な興味で十分です。

私たち羽黒工業は、そんなあなたと一緒に作り上げたいのです。

「あたりまえ」を作る側へ、あなたも来てみませんか？

心からお待ちしております。